事務事業評価シート (評価実施年度: 平成27年度)

上位の施策名称 施策 I - 5 - 2 雇用・就業の促進

		_						
1	.事務事業の目的	• 概要	事務事業担当課長	雇用政策課長	子能 昌信	電話番号	0852-22-529	96
	事務事業の名称	職業紹介事業						
B	(1)対象	求職者及び産業人材を求め	る県内事業所					
的	(2)意図	産業人材を確保することに	こより、県内企業の競争力を	を強化し、県内産業の発展	に寄与する。			
事業概	確保でき	産業人材を確保するため 着を介した専門人材確保> 品間職業紹介事業者に支払っ	7777	こ基づき、県外からの専門				人材が

2.成果参考指標

要 〈定住財団無料職業紹介所機能強化事業〉

	指標名	産業人材確保数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
(1)	担保石	<u></u>	目標値		60.00	60.00	60.00	60.00	
-11.	式•	無料職業紹介事業及び有料職業紹介事業者を介した専門人材確保	実績値	40.00	33.00	15.00	40.00		^
成果	定義	事業による産業人材の確保数	達成率		55.00	25.00	66.70		%
参	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
考指	担保石		目標値		0.00	0.00			
標	式•		実績値	0.00	0.00	0.00			
	定義		達成率		0.00	0.00			%

3重業費

<u>U. F A A</u>		
	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	4,904	4,678
うち一般財源(千円)	4,904	4,678

4.改善策の実施状況

ふるさと島根定住財団無料職業紹介所のマッチング機能の強化のための専門スタッフ配置に対して補助する。

前年度の課題を踏まえた 改善策の実施状況 ②改善策を実施した(実施予定、一部実施 む)	前年度の課題を踏まえた 改善策の実施状況
---	-------------------------

5.評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

県内の新規求人数は、製造業で前年度比▲2.6.ポイント、 ントなど、製造業で若干前年を下回ったものの、主要産業の多くが高水準を維 持。また、有効求人倍率は、平成26年度の平均が1.17倍で、前年度に比べ0.06ポイント上回った。 県内の雇用情勢は、緩やかに改善している。

・平成26年度新規求人数の状況(65,513人) ▲0.019%

• 有効求人倍率

H26年5月 ⇒1.20倍 H27年5月 : 1.23倍

6.成果があったこと (改善されたこと)

有料職業紹介事業者を介した専門人材確保では、 企業(技術者)、ものづくり企業(海外展開人材)において81名、計2名の人材確保。

無料職業紹介では、無料職業紹介充実にため、人員1 名をふるさと島根定住財団に配置。

7.まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

県内においてなお人手不足の状況。

②困っている状況が発生している「原因」

都市圏の企業との専門人材確保の競争においては、自分の望む職があるか否かに加え、賃金等の待遇 面での差や、島根での暮らしに対する不安などが転職する際のネックになっていると推測。

③原因を解消するための「課題」

島根で働く(県内企業)、島根で生活する魅力を発信する必要がある。

★ 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方) 賃金など金額で表すことの面、島根の企業の魅力、島根で働くことの魅力、島根で生活することの魅力を発信する必要がある。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既 存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいよう に、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れ となるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)